

【ロジスティクス大賞】

共同輸送データベースの普及による
フィジカルインターネットの実現に向けて

一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会
株式会社traevo



既設車載器を活用した物流効率化 traevo Platform & traevo noWa



traevo
Platform



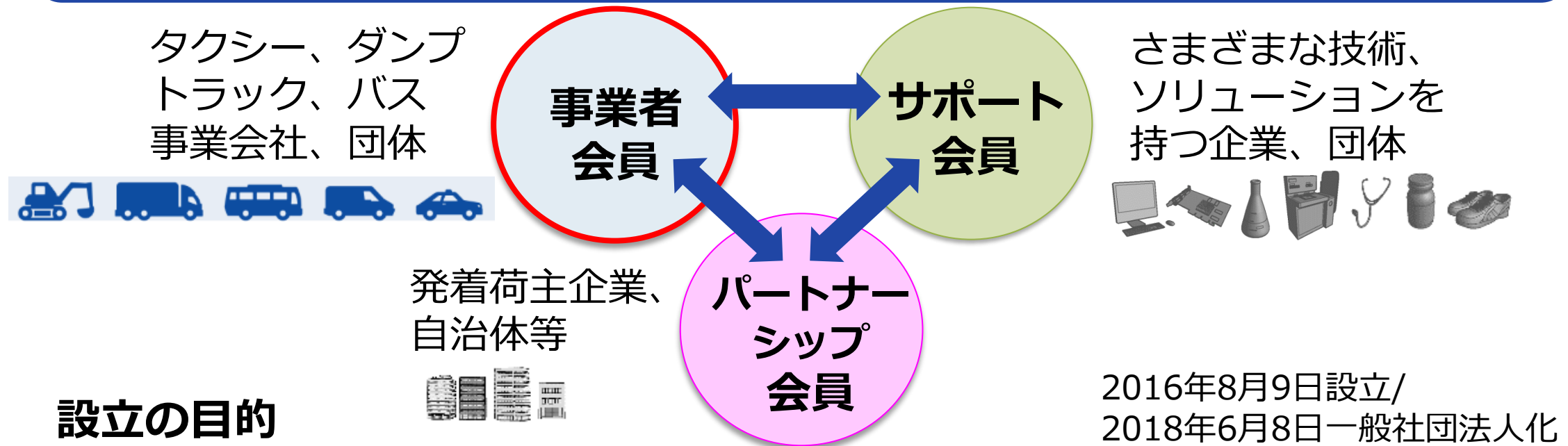
traevo
noWa

株式会社traevo 代表取締役社長
一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会 理事
鈴木久夫

設立の背景

運輸は産業や社会の基盤、中小企業が99%以上
さまざまな業界課題

① 1社では解決が難しい、② 同じ課題を各社で解決



設立の目的

運輸業界と、ICTなど多様な業種のサポート企業、およびパートナーシップ企業が連携し、デジタルテクノロジーを利用することで運輸業界を安心・安全・エコロジーな社会基盤に変革し、業界・社会に貢献する



WG05

「動態管理プラットフォーム
の社会実装と活用」で開発・実証

2016年設立 会員数約200社

一般社団法人
運輸デジタルビジネス協議会

運輸業界と多様な業種のサポート企業が
連携し、デジタルテクノロジーを活用して
運輸業界を安心・安全・エコロジーな
社会基盤に変革



株式会社 traevo

TDBC会員の活動成果を、運輸および
関連する業界に

プラットフォームとして
「持続可能」な形で社会実装する

2022年設立

「営利を目的とせず」オープンなプラットフォームとして社会課題解決を目指す

物流の割り勘仲間 急募!

ビジネスモデル
特許出願中

TDBCは車載器メーカーを横断して、自社・庸車問わず車両情報の一元管理ができる動態管理プラットフォームを提供します。

パートナー庸車の管理にお悩みの**運送事業者様**

配送車両の動態管理が必要と感じる**荷主企業様**

自社製品配送車両の一元管理が必要な**製造業様**

運送事業者の着荷遅延が多いと感じる**流通業様**

動態情報を活用したサービスを
提供していただける**サービス事業者様**



お問合せ・お申し込みは

<http://traevo.jp>

株主一覧

ウイングアーク1st株式会社
鈴与株式会社
TRANSCOM株式会社
株式会社トランスロン
矢崎エナジーシステム株式会社
株式会社首都圏ホールディングス
三興物流株式会社
茨城乳配株式会社
株式会社グローバルワイズ
株式会社セイリョウライン
物流企画サポート株式会社
大河原運送株式会社
株式会社データ・テック
運輸デジタルビジネス協議会

既設車載器の情報を物流効率化に活用

物流企業が主役

荷主と物流企業間の共通言語を提供

サプライチェーンの効率化

新物流効率化法対応サポート

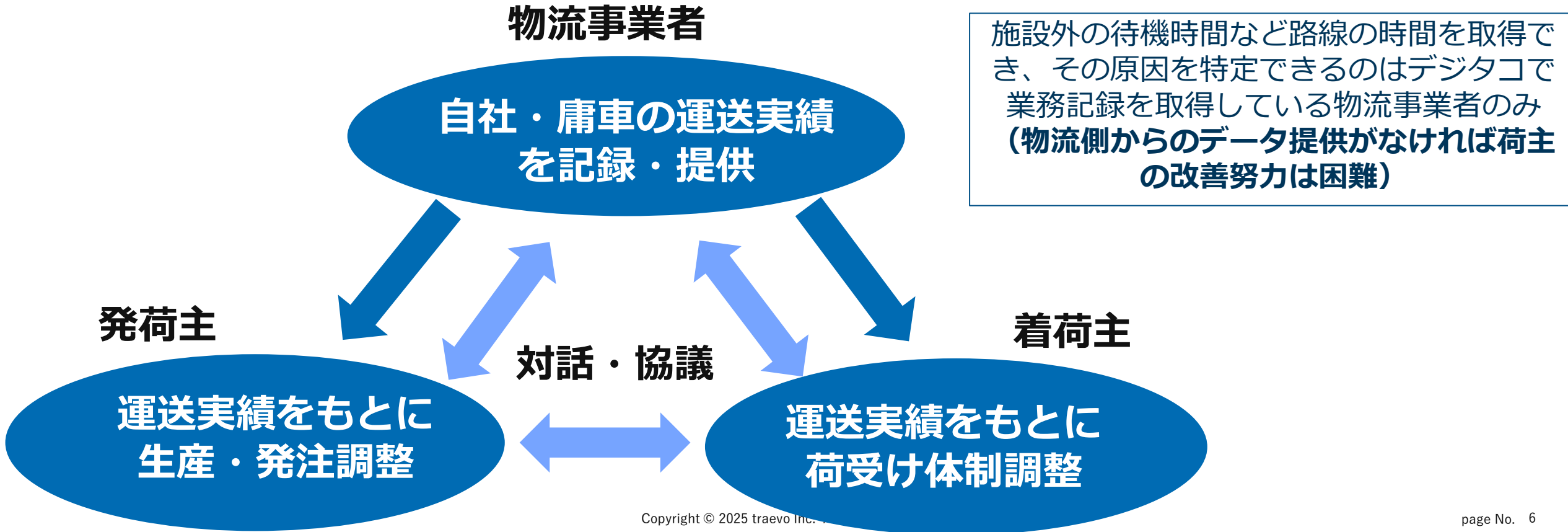


traevo
Platform

新物効法の骨子

「発荷主」「着荷主」（製造業、流通業、卸等）は自社の物流を物流会社に丸投げすることなく、
各社連携の上サプライチェーンを維持する努力が必要

物流事業者主導による物流効率改善提案が可能



既設車載器データの活用（デジタルタコグラフ）

富士通 トランストロン製



システック製



データ・テック製



NPシステム開発製



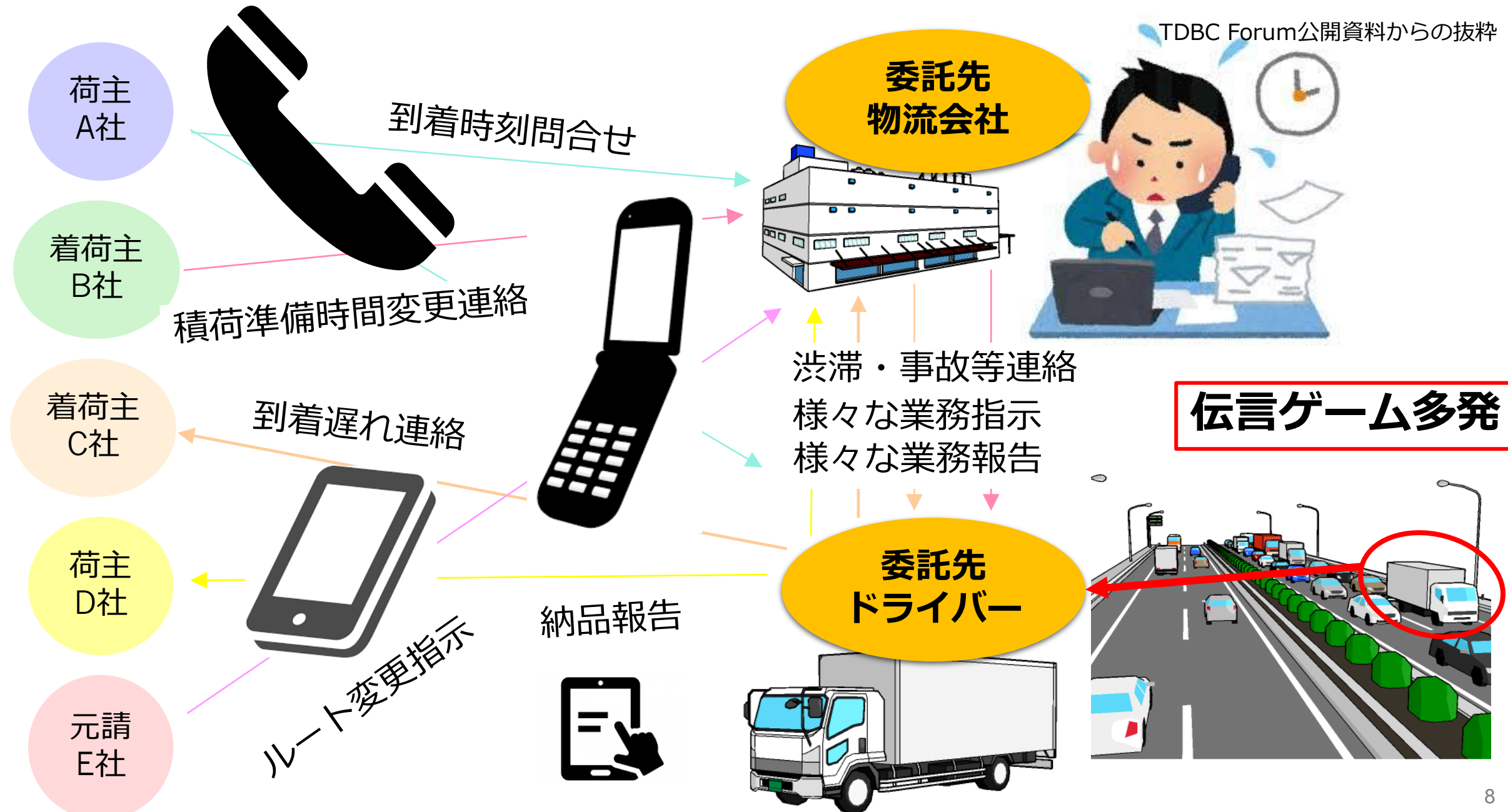
矢崎エナジーシステム製



光英システム製



物流現場のアナログな連絡・報告業務



アナログ作業が必要となる理由

- ✓ サプライチェーンは多数のサプライヤー、委託先協力会社からなり、元々相手先とのシステムによる情報連携は難しい
- ✓ 物流業界は約6万社の多階層下請構造であり、**90%以上が中小事業者**（各社の車載インフラは異なる）
- ✓ デジタコなどの車載機器には連携のための統一規格がないため、物流委託事業者ごとに異なる車載器メーカーを利用している状況下で車両運行状況・作業状況を収集するためには、なんらかの強制力を使って各社に同じ機器、同じシステムを使ってもらうしかない（B2C≒宅配業界では常識）

What's traevo Platform

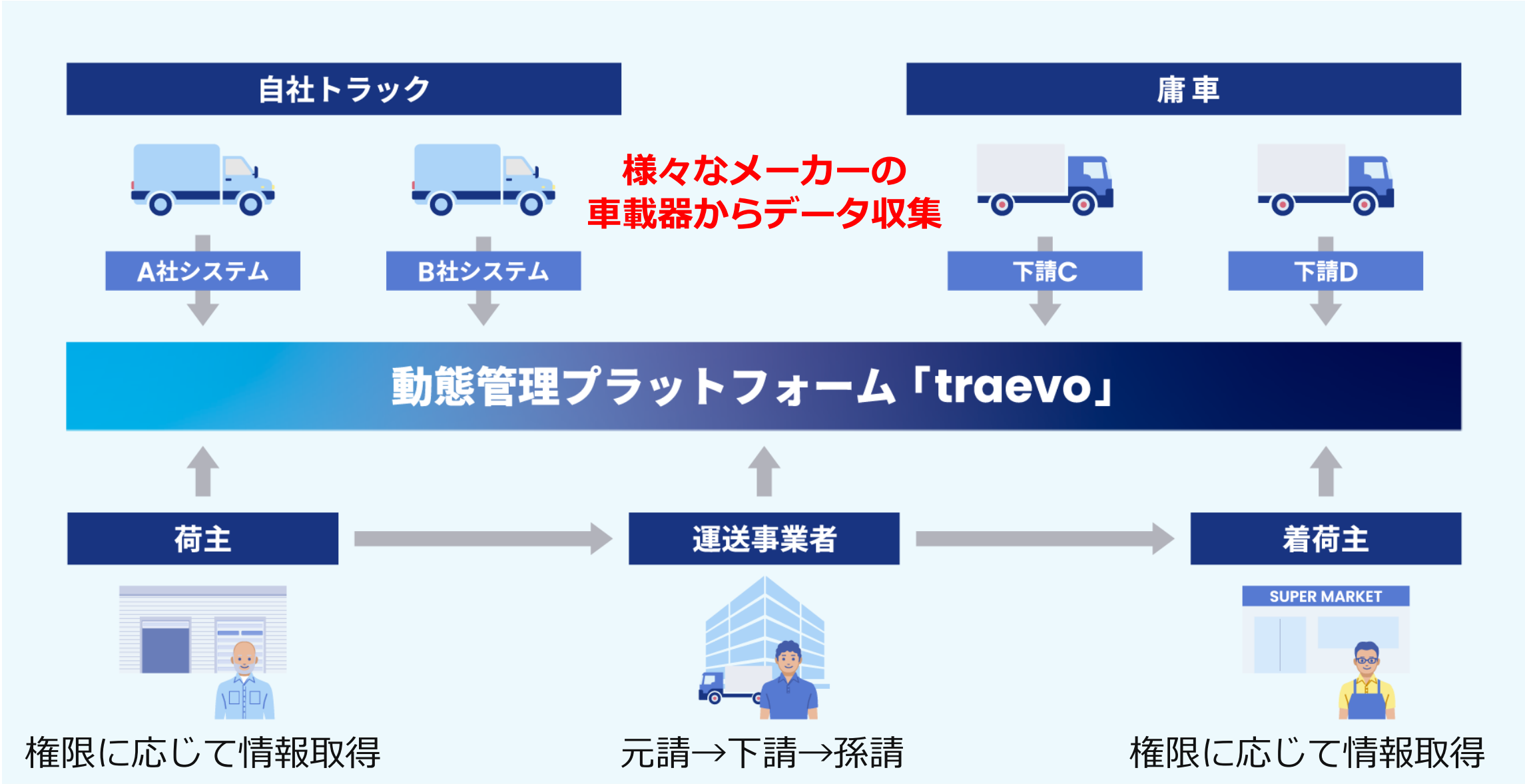
- ◆ 車載器メーカー（デジタコ等）を**またがって**車載器から車両情報を収集し、必要な情報をステークホルダ（荷主・元請・着荷主）に届ける仕組み
- ◆ 収集するデータは既設の車載器から自動的に取得するため、新たな設備投資を必要としない
- ◆ 物流事業者でなく、情報利用者である荷主側にコストを負担いただく
- ◆ 収集するデータは主に車両動態とドライバー作業ステータス

ドライバーに2重入力を強制しない仕組み

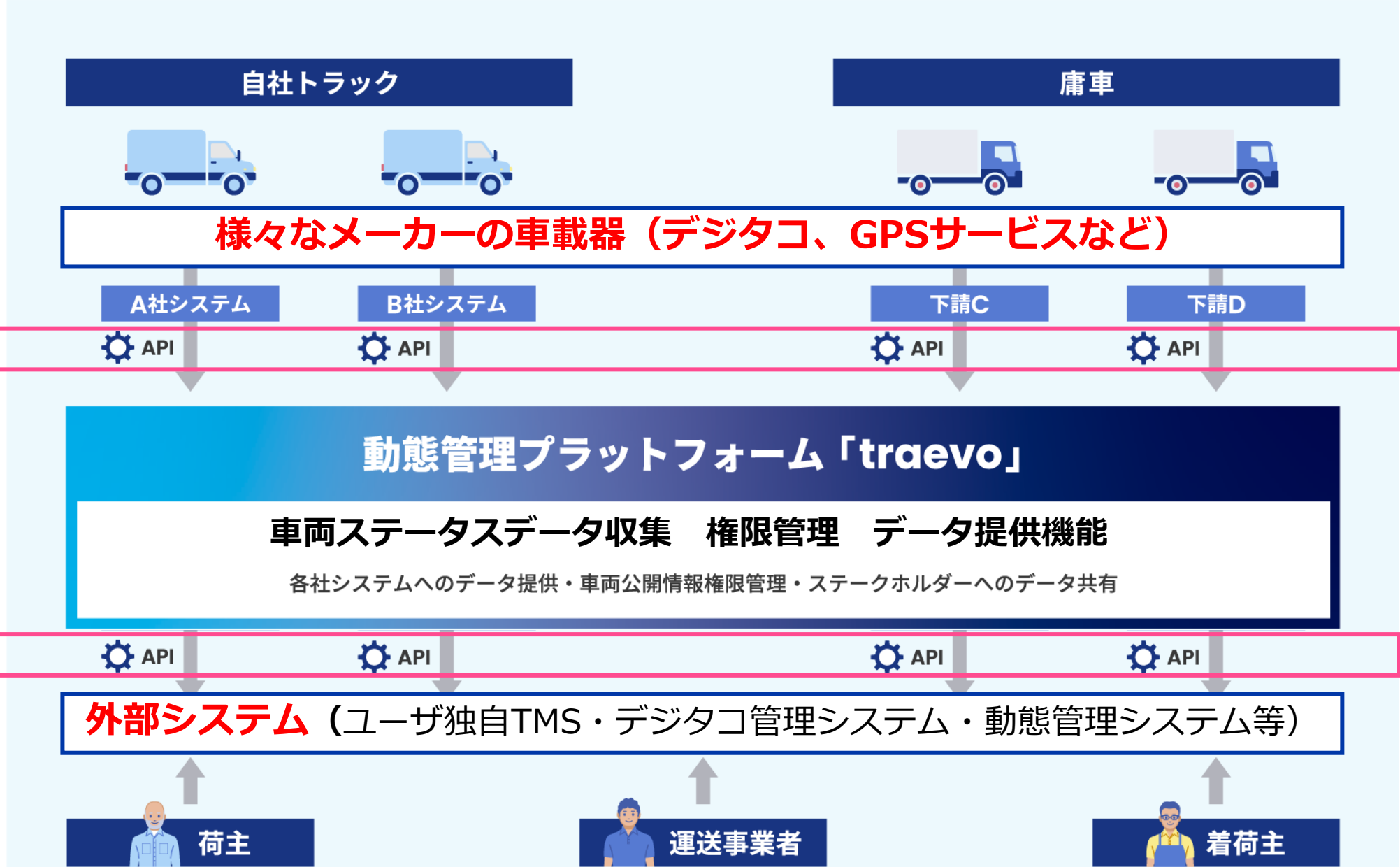
【対象データ】

- ・ タイムスタンプ
- ・ GPS位置情報
- ・ 作業ステータス（**出庫、帰庫、荷積、荷下し、待機、休憩、休息** 等）
- ・ 庫内温度
- ・ オドメーター（距離情報）
- ・ その他
（個別対応）

新物効法対応に必要な情報



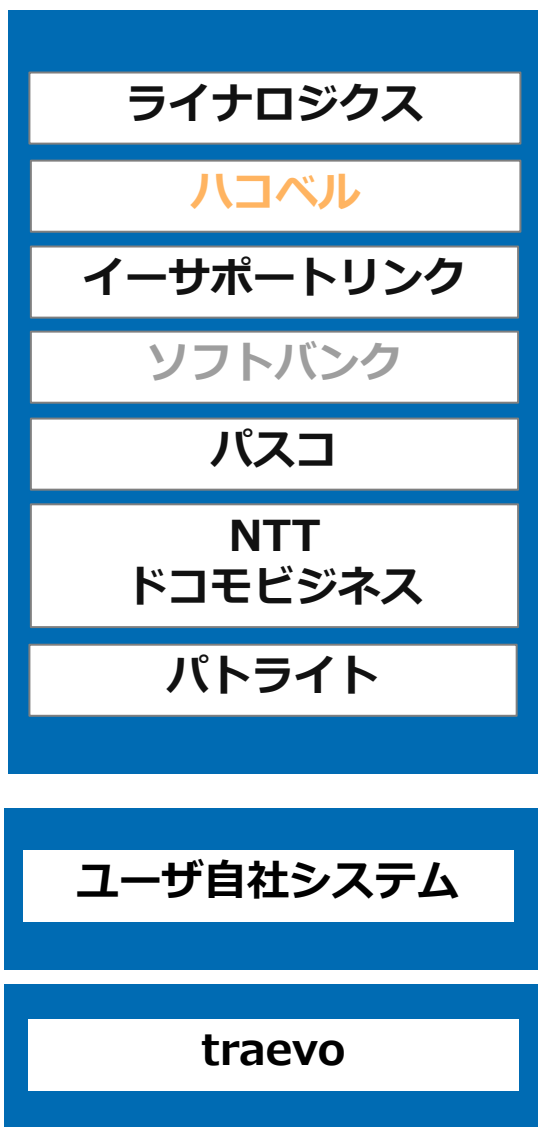
Traevo Platformのシステム構造



データ収集API

データ提供API

データ利用パートナー



自車・庸車
車両と作業状況（自動取得）



メーカー毎の「方言」を
「共通言語」化して配信

開発中

協議中

データ提供パートナー



現場のアナログ作業を削減し、
物流現場を効率化

自社サプライチェーン（Scope3を含む）
で発生している問題状況を可視化・把握

拠点ごとの待機時間の把握

報告・連絡業務の軽減

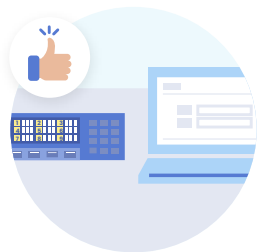
待機が多い拠点を可視化

荷役作業時間の長い納品先を把握

電話等による伝言ゲーム削減

ドライバー労働時間の把握

協力会社の運送実績を把握



追加機器なし

対応デジタコや動態管理サービスと連動



カンタン集約管理

関係車両のステータスを集約



申請するだけ

機器やサービスのIDを申請するのみ



500円（台/月）

低コストを実現

※運行管理オプションご利用の際は別途見積

2022年4月 無料トライアル受付開始
～2022年末 トライアル実施&機能改善

2023年1月 正式サービスイン

公開依頼企業(あいまい検索)

業務内容(あいまい検索)

* 車両番号

沖縄222い2222

* 走行期間

2023-01-10 09:00 ~ 2023-01-13 00:00

検索できる走行履歴は90日以内、2,000件までとなります。
また、CSV出力は検索条件を基に出力されます。

🔍 検索する

📄 CSV出力

🗑️ クリア

凡例

🚩 目的地

📍 荷積(03)

📍 荷降(04)

📍 休憩(05)

📍 待機(06)

アイコン表示切替

📍 目的地表示

📍 重複作業を非表示

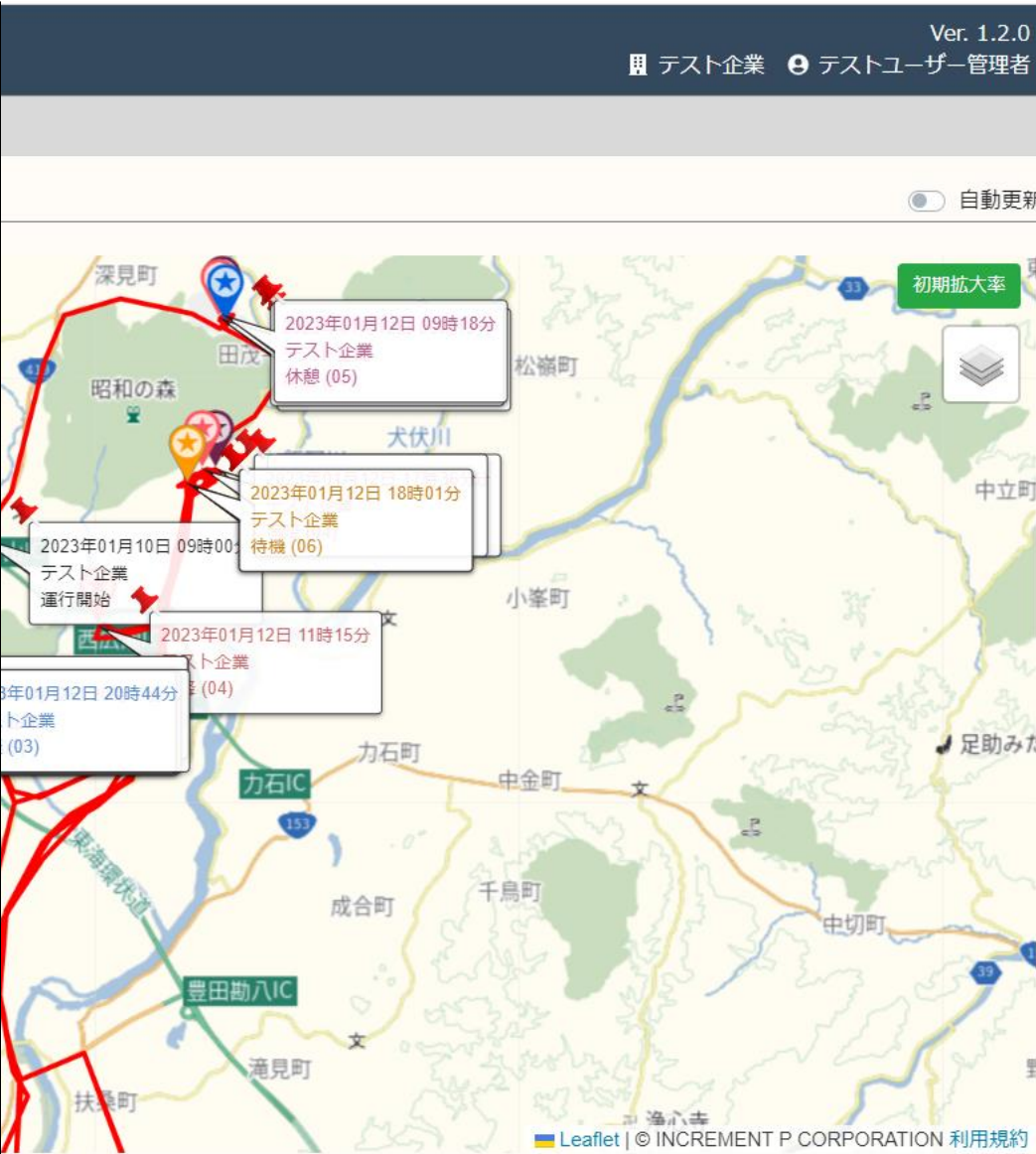
🗨️ 車両ステータスの吹き出しを全て表示



待機時間等の現状把握（自社・庸車共通）



車両番号	日時	作業コード	作業名	目的地	緯度	経度
沖縄222	2023/1/12 9:01	0	出庫		35.03973	137.1364
沖縄222	2023/1/12 9:41	3	荷積		34.90727	137.1399
沖縄222	2023/1/12 11:26	4	荷降		35.147	137.1774
沖縄222	2023/1/12 11:30	3	荷積		35.14708	137.1775
沖縄222	2023/1/12 11:35	6	待機		35.14698	137.1774
沖縄222	2023/1/12 11:41	4	荷卸		35.14707	137.1775
沖縄222	2023/1/12 11:51	1	出発		35.1472	137.177
沖縄222	2023/1/12 12:28	5	休憩		35.1482	137.176
沖縄222	2023/1/12 13:13	4	荷降		35.14751	137.1778
沖縄222	2023/1/12 14:51	3	荷積		35.45734	137.4681
沖縄222	2023/1/12 16:55	6	待機		35.20503	137.1403
沖縄222	2023/1/12 17:07	5	休憩		35.14705	137.1775
沖縄222	2023/1/12 18:17	3	荷積		35.14762	137.1778
沖縄222	2023/1/12 20:32	4	荷降		35.04677	137.1613
沖縄222	2023/1/12 21:21	5	休憩		35.14733	137.1766
沖縄222	2023/1/12 21:29	6	待機		35.14739	137.1766
沖縄222	2023/1/12 21:41	3	荷積		35.14813	137.1758
沖縄222	2023/1/12 21:49	4	荷降		35.1482	137.1758



登録地点における滞留時間（荷待ち、荷役時間等の合計）を測定記録するオプション機能

	乗客留置番号	乗客の氏名	乗客グループ1	乗客グループ2	目的地	到着時刻	出発時刻
09120					川口市駅	2025年03月09日 18時49分	2025年03月11日 18時32分
09120					新元川大橋	2025年03月11日 18時38分	2025年03月11日 18時40分
09120					新元川大橋	2025年03月11日 18時32分	2025年03月11日 18時32分
09120					豊久橋	2025年03月11日 18時33分	2025年03月11日 18時39分
09120					戸田橋	2025年03月11日 18時23分	2025年03月11日 18時36分
09120					保良橋	2025年03月12日 18時38分	2025年03月12日 18時40分
09120					保良橋	2025年03月12日 11時19分	2025年03月12日 11時12分
09120					戸田橋	2025年03月12日 18時28分	2025年03月12日 18時36分
09120					戸田橋	2025年03月12日 11時20分	2025年03月12日 11時22分
09120					幸成大橋	2025年03月12日 18時44分	2025年03月12日 18時47分
09120					幸成大橋	2025年03月12日 11時03分	2025年03月12日 11時05分
09120					川口市駅	2025年03月12日 18時12分	2025年03月12日 18時20分
09120					川口市駅	2025年03月12日 11時01分	
09120					川口市駅	2025年03月12日 11時34分	
09120					保良橋	2025年03月12日 18時39分	2025年03月12日 18時41分
09120					保良橋	2025年03月12日 11時11分	2025年03月12日 11時13分
09120					川口市駅	2025年03月11日 08時52分	2025年03月11日 18時29分
09120					戸田橋	2025年03月12日 18時29分	2025年03月12日 18時36分
09120					幸成大橋	2025年03月12日 18時44分	2025年03月12日 18時47分

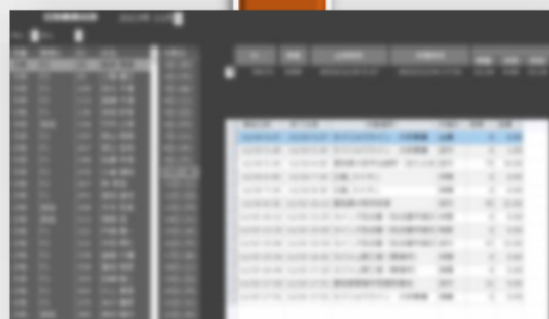
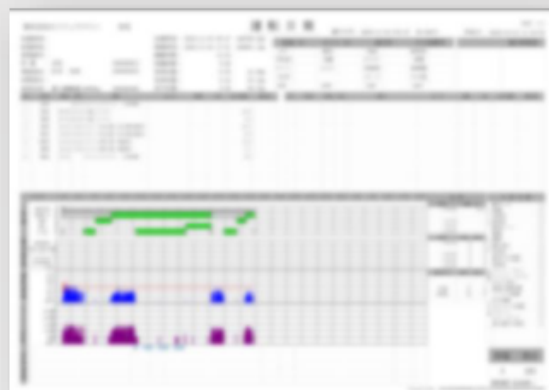
各登録拠点の着発時刻を日次集計

荷待ち・荷役時間集計オプション

- 配送先
- 物流センター
- 車両
- 委託先

などの荷待ち・荷役・休憩等の作業記録を日次集計するオプション機能

デジタル式運行（業務）記録計 の活用



日付	車両 ID	作業名	開始 時間	終了 時間	作業場所	荷役	待機 時間	配車No	数量	待機と 荷役の 合計	乗務員1人当りの 許容時間 待機1時間+ 荷降2時間×人数	希望 補償 時間
11/07 (火)	6178	荷積	9:52	11:17	荷主AA	1:25	0:00	71	507			
	6178	走行	11:17	12:46	荷主AA	0:00	0:00					
	6178	荷卸	12:46	15:05	配送先BBBBBB	2:18	0:00					
	6178	走行	15:05	16:46	配送先BBBBBB	0:00	0:00					
	6178	帰庫	16:46	16:46	セイリョウライン_小牧車庫	0:00	0:00					
	5838	荷積	8:24	9:28	荷主AA	1:04	0:00	70	1,055			
	5838	走行	9:28	10:52	荷主AA	0:00	0:00					
	5838	待機	10:52	12:32	配送先BBBBBB	0:00	1:39					
	5838	荷卸	12:32	14:58	配送先BBBBBB	2:26	0:00					
	5838	走行	14:58	16:15	配送先BBBBBB	0:00	0:00					
	5838	帰庫	16:15	16:15	セイリョウライン 小牧営業所	0:00	0:00					
11/10 (金)	6309	待機	6:50	7:34	荷主AA	0:00	0:44	69	623			
	6309	荷積	7:34	8:36	荷主AA	1:02	0:00					
	6309	走行	8:36	10:12	愛知県小牧市舟津	0:00	0:00					
	6309	待機	10:12	13:25	配送先BBBBBB	0:00	3:12					
	6309	荷卸	13:25	15:05	配送先BBBBBB	1:40	0:00					
	6309	走行	15:06	15:54	配送先BBBBBB	0:00	0:00	70	619			
	998	荷積	10:24	11:38	荷主AA	1:13	0:00					
	998	走行	11:38	11:41	荷主AA	0:00	0:00					
	998	走行	11:41	12:29	愛知県小牧市小木東1丁目	0:00	0:00					
	998	待機	12:29	14:24	配送先BBBBBB	0:00	1:55					
	998	荷卸	14:25	16:46	配送先BBBBBB	2:21	0:00					
	998	走行	16:53	18:37	愛知県名古屋市港区神宮寺2丁目	0:00	0:00					
	998	帰庫	18:37	18:37	セイリョウライン_小牧車庫	0:00	0:00					
										6:23	6:00	0:23
										8:50	6:00	2:50

出典：TDBC「荷待ち時間ゼロガイドライン」からの抜粋

<https://tdbc.or.jp/pages/zeroguide/>

協力運送会社の 運行状況を すべて把握！

サントリー輸配送で採用
物流DX




物流協力会社と自社の
作業時間を削減

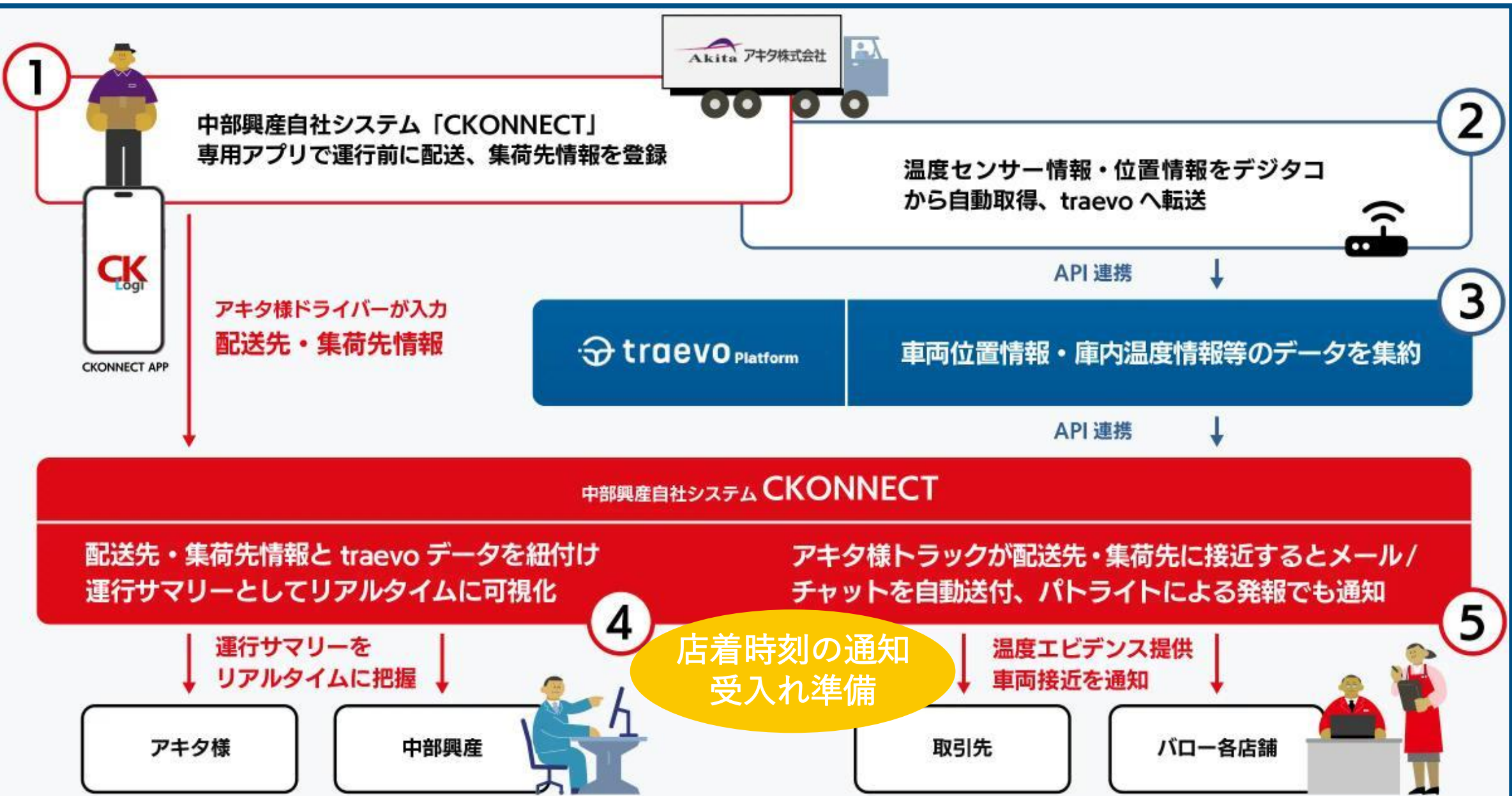
自社システムとの連携
によってデータを活用
滞留時間を分析

物流協力会社に手間とコスト
を掛けずに自動データ収集

自社・協力会社の作業時間を6万時間/年削減

◆ユーザ事例 2

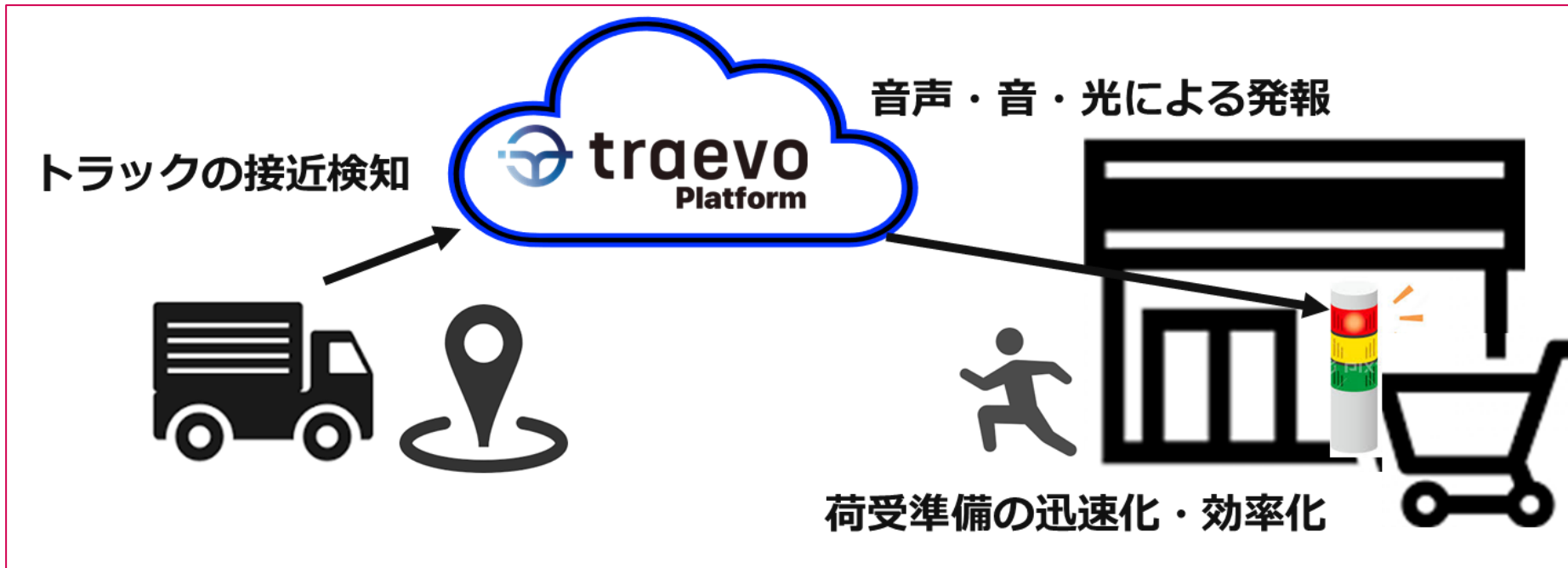
バローホールディングス様 + 中部興産様 + アキタ様



◆ ユーザ事例 3 (物流効率化法 荷主判断基準事例集より)

掲載サイト (経済産業省)

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/butsuryu-kouritsuka.html>



○事例10 (荷役等を行う人員の適切な配置) イオン北海道

➤ 荷受け専門の要員が確保出来ない小売店舗においては、店員が店内オペレーションに忙殺されてしまうため、車両の到着に合わせた適切なタイミングで荷受け作業を開始することが難しいことが多く、待機時間、荷役等時間 (店舗での滞留時間) を短縮することが課題となっている。

➤ そこで、トラック近接を音声と光で店員に報知する装置を導入し、着荷時刻が店舗に事前通知されることにより、店員がトラックの到着前に荷受準備をすることが可能となり、一部店舗への実証導入を通じて平均15%の荷役等時間の短縮を実現。

➤ 加えて、荷受けの際に店舗従業員が前もって搬入口に出て、近隣住民、顧客への安全配慮を行うことが可能となった。

◆ 共通言語でできること

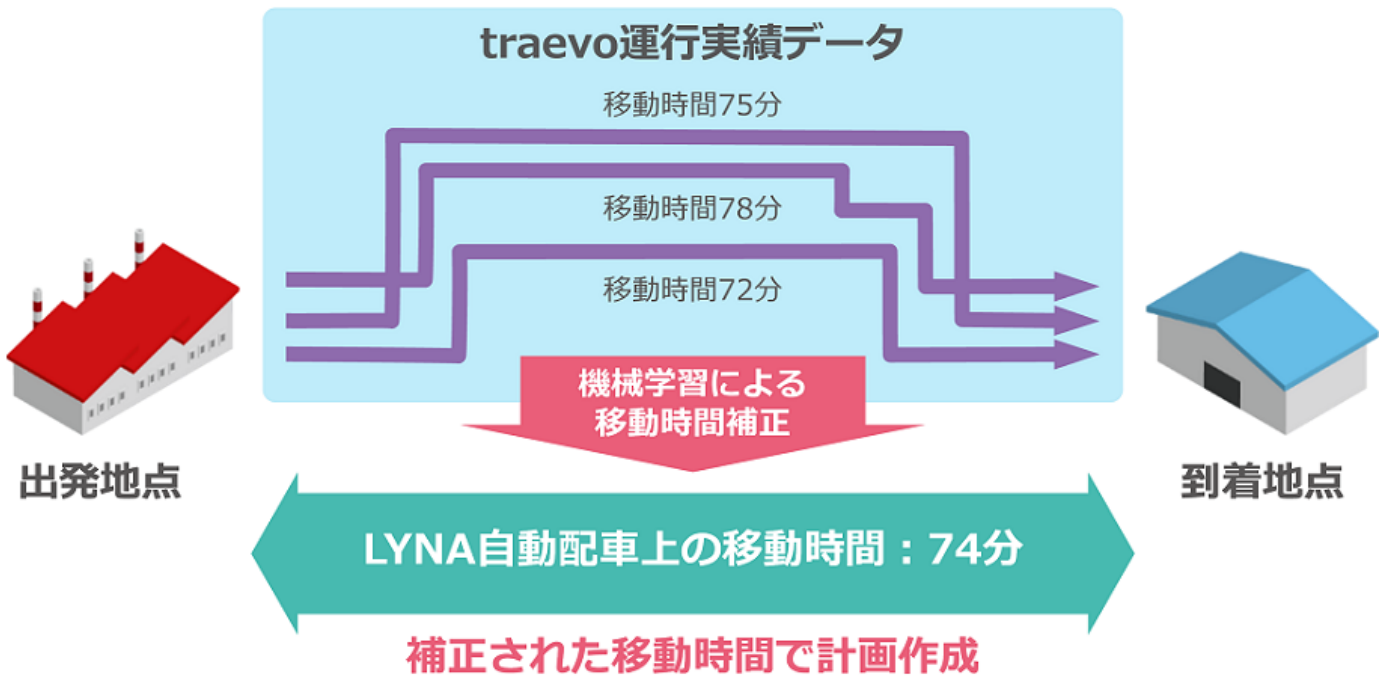


LYNA自動配車AIへ教師データを提供



個社ごとの「実運行ルート」データをAIに学習させることで
より精緻な配車シミュレーションが可能に

traevo運行実績データを基にした移動時間補正



個社の運行ルール
状況に応じた配送ルート



◆ 共通言語でできること③

配車管理システムへデジタコデータを連携



デジタコなどの既設インフラを利用して「**端末入力を期待できない委託先車両**」も管理



—パスコ Localへの連携を実装

自車・庸車
リアルタイム状況を自動取得
輸送動態・作業状況



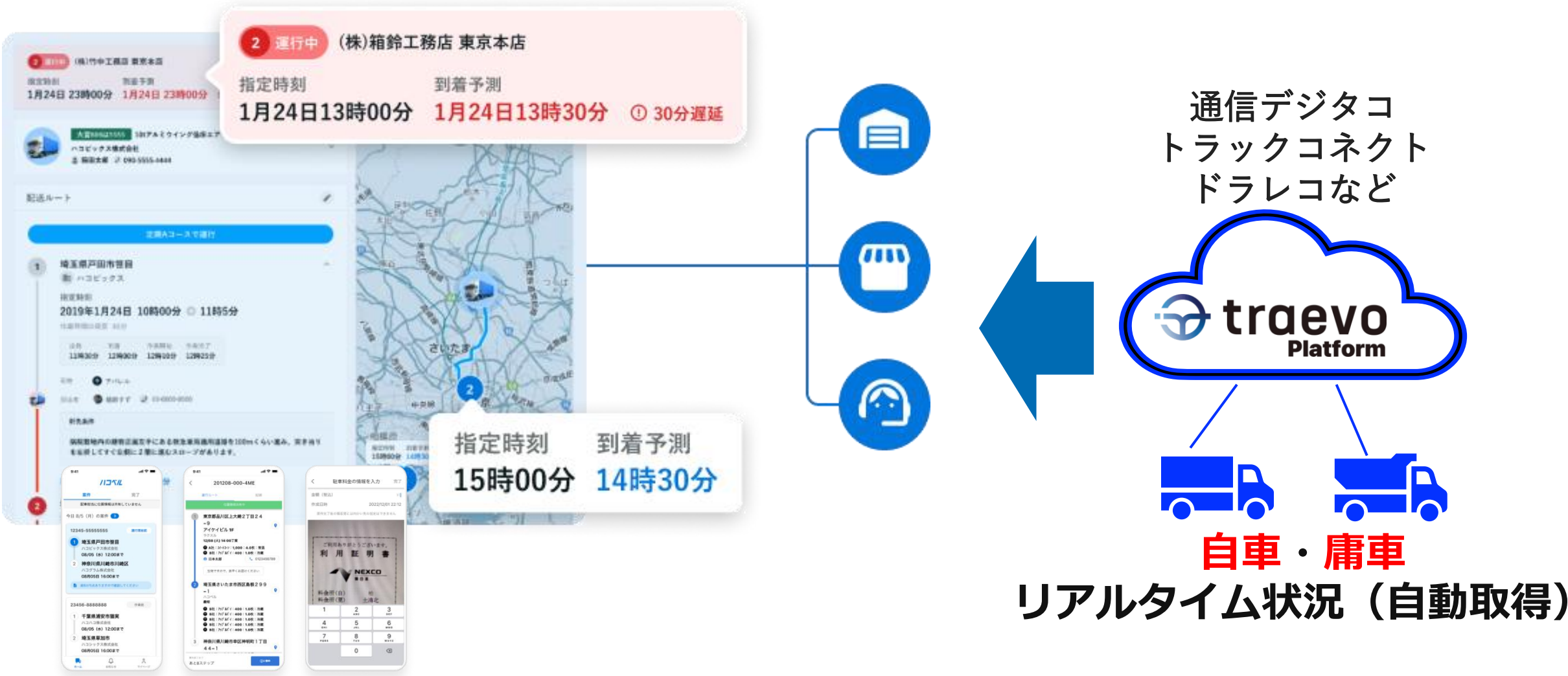
通信型デジタコ
トラックコネクト
ドラレコなど

◆ 共通言語でできること

ハコベル動態管理へデジタコデータを連携



デジタコなどの既設インフラを利用して
ハコベルドライバーアプリが渡せない委託先車両も管理



自社情報公開による 共同輸送検討のためのマッチングサービス

「帰り荷はどこにある？」

「誰が持っている？」

を探すサービス

運べなくなる未来を回避

積載効率向上

フィジカルインターネット実現への布石

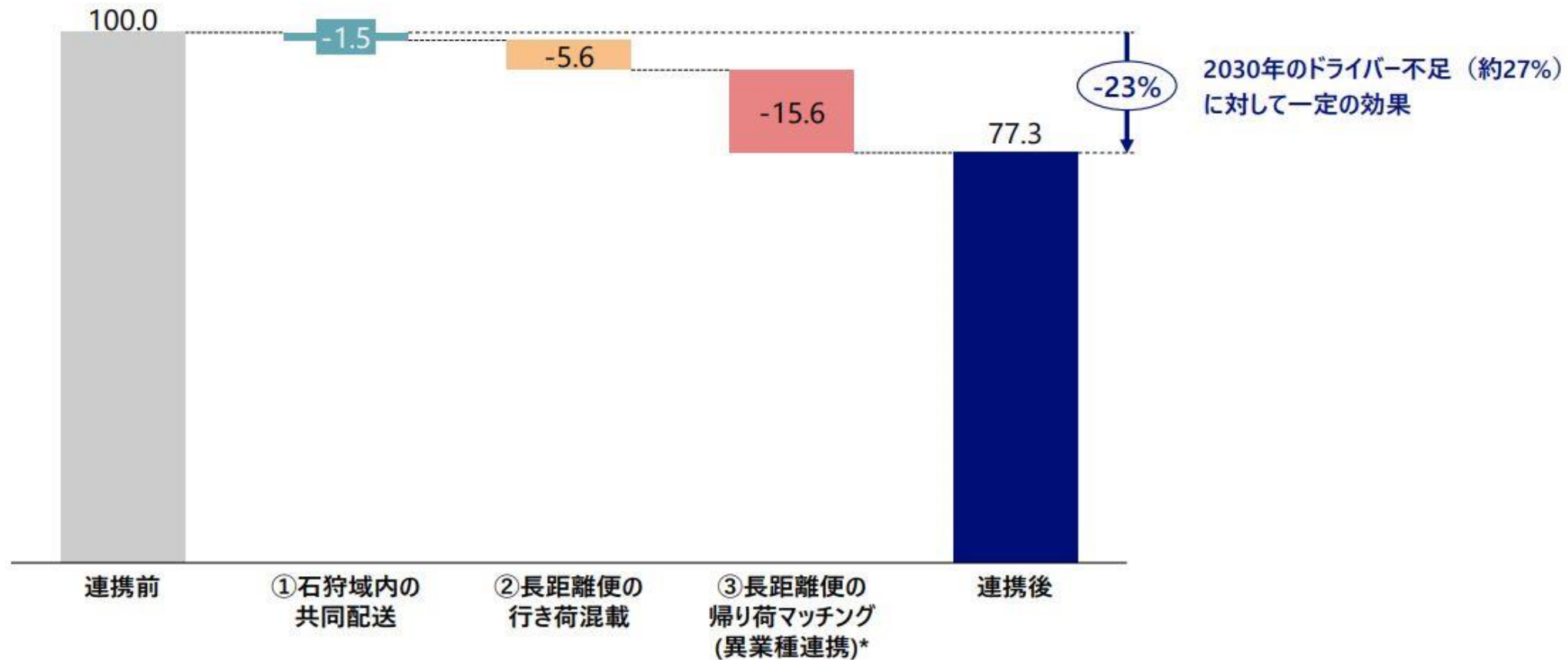


traevo
noWa

連携効果の試算

ドライバー不足に対して最もインパクトが大きいのは、「長距離便の帰り荷マッチング」

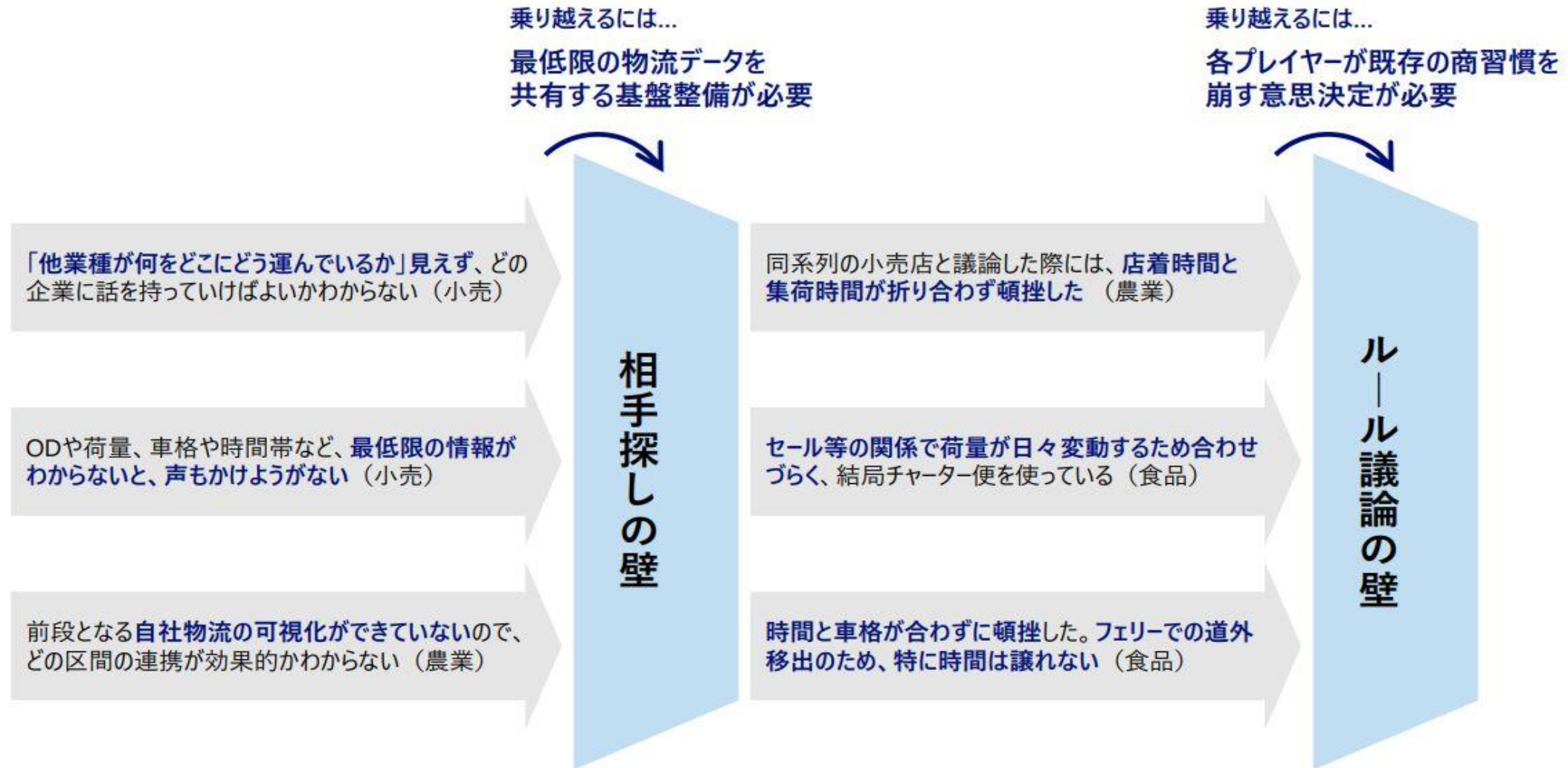
小売大手4社の北海道における総走行距離と連携効果（現状を100とした時のシミュレーション結果）



* 帰り荷の空車・未積載分のうち、札幌からその他地域に向かう軽工業品・雑工業品の貨物量に対する、その他地域から札幌に向かう農水産品の貨物量の割合だけ帰り荷が確保できると仮定

出所）イオン北海道、北雄ラッキー、トライアル、西友の配送データをもとにNRI推計

一方で、実際には「相手探し」「ルール議論」の段階で頓挫していることがほとんど
それぞれの壁を乗り越えなければ、3割のモノが運べなくなる未来を避けられない



開発背景 – traevo noWaの歩み

traevo platform 実証実験

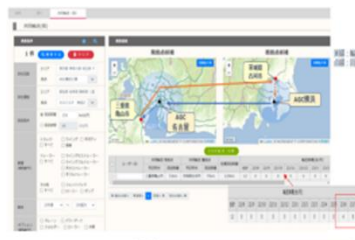


2022.10 ~ 2023.07

TDBC WG

「共同輸送DBデータ連携実証」

動態管理PF(traevo)から検索データ生成



2024.10 ~ 2025.07

TDBC WG

「サービスインに向けたシステム改修」

資源エネルギー庁補助事業採択



~2021

2022

2023

2024

2025

2022.09.01

traevo platform
正式サービス開始



2022.01.07

株式会社traevo 設立

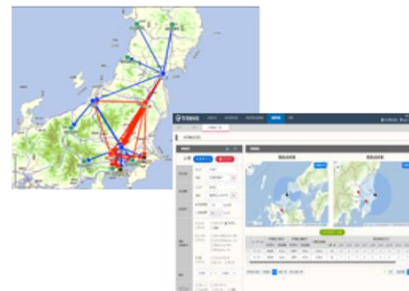


2023.10 ~ 2024.07

TDBC WG

「DBを活用した実共同輸送実証」

共同輸送DBを活用した異業種間の共同
輸送実証・効果検証



2025.08.01

traevo noWaサービスイン

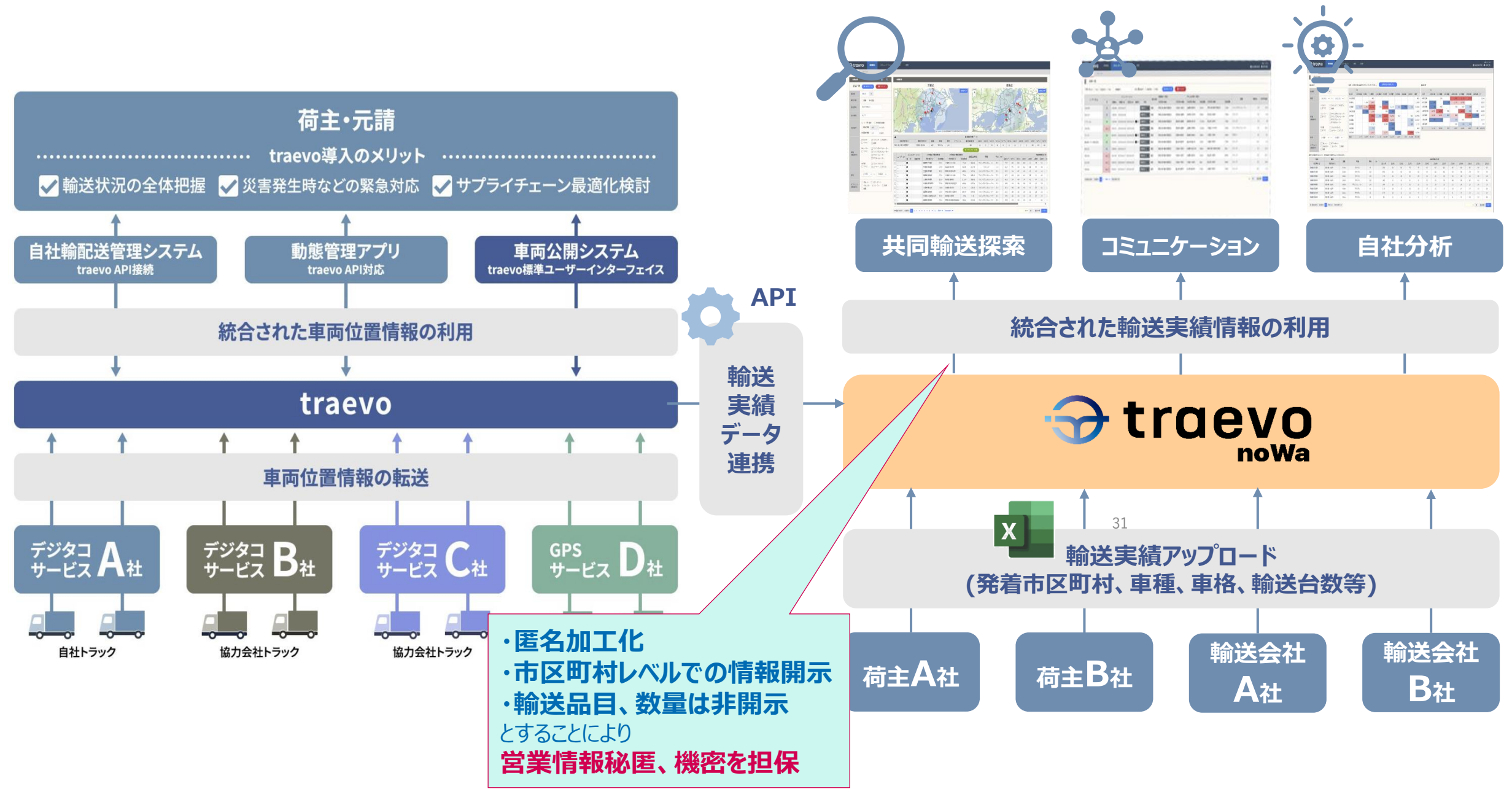


2025.08.05

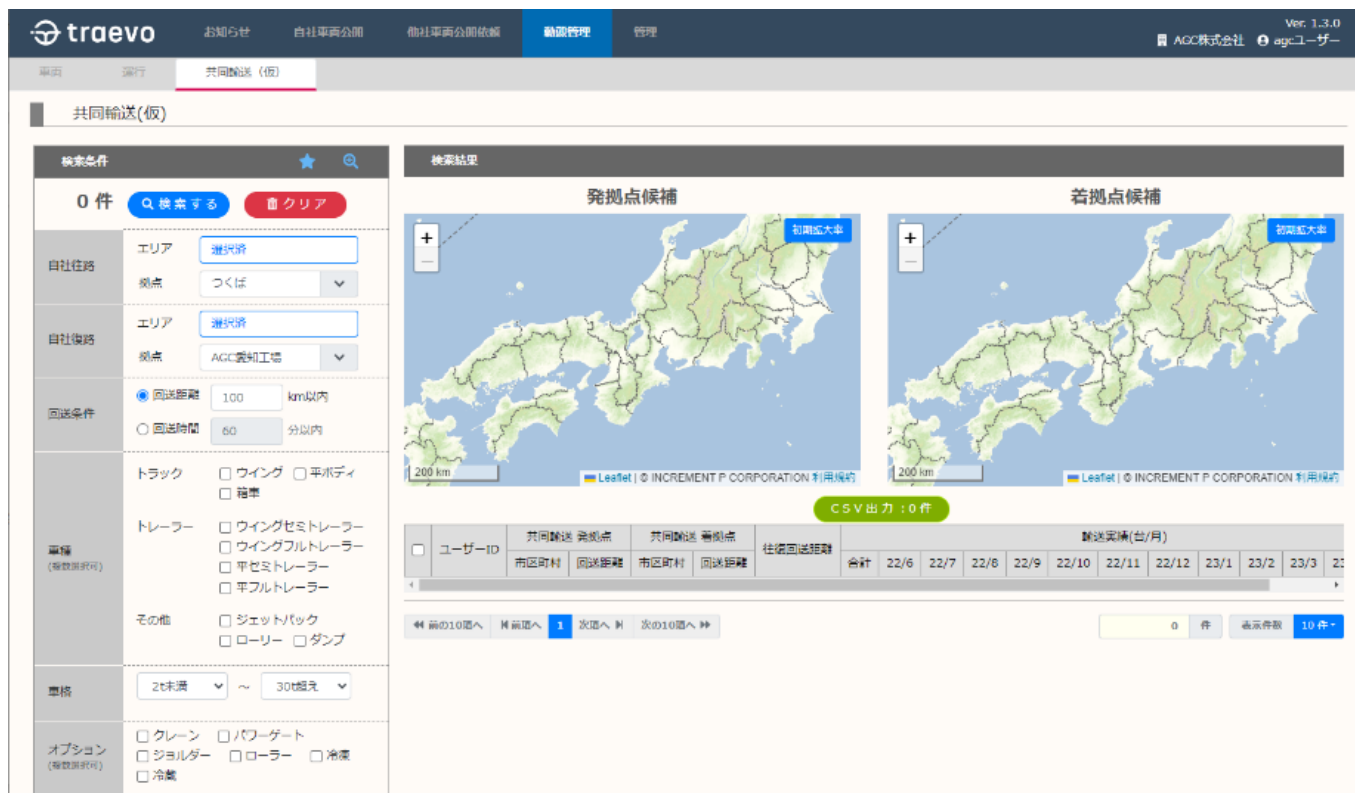
JILSロジスティクス大賞
受賞



開発背景 – traevo noWa構成図



異業種・複数企業間での共同輸送を活性化することを目的
荷主が自社貨物の「積み地」「降ろし地」を登録（匿名化）
運行実績・頻度・車格等を可視化し共同輸送を希望する他企業を検索
まずは帰り便のマッチングから



The screenshot shows the traevo noWa web application interface. The top navigation bar includes the traevo logo, user information (AGC株式会社, agcユーザー), and version (Ver. 1.3.0). The main content area is titled "共同配送(仮)" and features a search filter panel on the left and two maps on the right.

検索条件 (Search Filters):

- 0 件 (0 items)
- 検索する (Search)
- クリア (Clear)
- 自社住所 (Self Address): エリア (Area) 選択済 (Selected), 拠点 (Base) つくば (Tsukuba)
- 自社集路 (Self Collection Route): エリア (Area) 選択済 (Selected), 拠点 (Base) AGC豊和工場 (AGC Toyohashi Factory)
- 回送条件 (Return Conditions): ☒ 回送距離 (Return Distance) 100 km以内 (Within 100 km), ☐ 回送時間 (Return Time) 60 分以内 (Within 60 minutes)
- 車種 (Vehicle Type): ☐ トラック (Truck), ☐ ウイング (Wing), ☐ 平ボディ (Flat Body), ☐ 箱車 (Box Van), ☐ トレーラー (Trailer), ☐ ウイングセミトレーラー (Wing Semi-Trailer), ☐ ウイングフルトレーラー (Wing Full-Trailer), ☐ 平セミトレーラー (Flat Semi-Trailer), ☐ 平フルトレーラー (Flat Full-Trailer), ☐ その他 (Others), ☐ ジェットバック (Jet Back), ☐ ローリー (Lowboy), ☐ ダンプ (Dump)
- 車格 (Vehicle Size): 2t未満 (Less than 2t) ~ 30t以上 (30t or more)
- オプション (Options): ☐ クレーン (Crane), ☐ パワーゲート (Power Gate), ☐ ジョリルダー (Jolly Loader), ☐ ローラー (Roller), ☐ 冷蔵 (Refrigeration), ☐ 冷蔵 (Refrigeration)

検索結果 (Search Results):

- 発拠地候補 (Origin Candidates): Map showing Japan with a red dot in the Kanto region.
- 着拠地候補 (Destination Candidates): Map showing Japan with a red dot in the Kanto region.
- CSV出力: 0 件 (CSV Output: 0 items)
- Table with columns: ユーザーID (User ID), 共同配送 発拠地 (Joint Distribution Origin), 共同配送 着拠地 (Joint Distribution Destination), 往復回送距離 (Round-trip Return Distance), 合計 (Total), 22/6, 22/7, 22/8, 22/9, 22/10, 22/11, 22/12, 23/1, 23/2, 23/3, 23/4.

共同配送相手を探すパイロットシステムを構築



自車・庸車
地点間運行実績（自動取得）

- ◆ 実証事業体 運輸デジタルビジネス協議会（TDBC）WG05A
- ◆ 実証期間 2024年1月1日～2024年7月31日（23年1月～23年12月データを使用）
- ◆ 実証実験参加企業
 鈴与カーゴネット、大王製紙、中部興産、トランコム、ヤンマーロジスティクス、AGC
- ◆ 登録ルート数 1257 （のべ285,000台）
- ◆ 共配検討数 30件
- ◆ 共配実現ルート数 8件

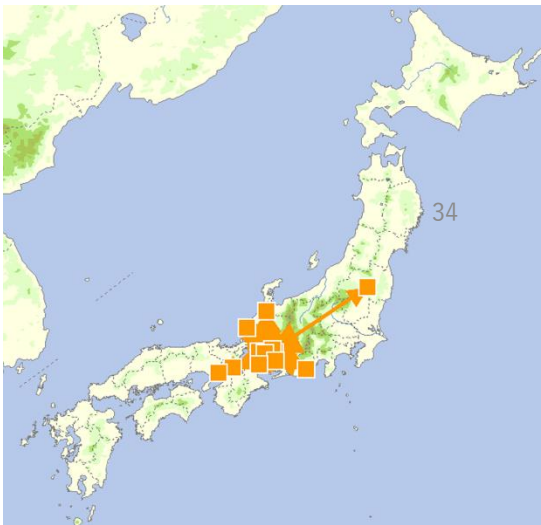
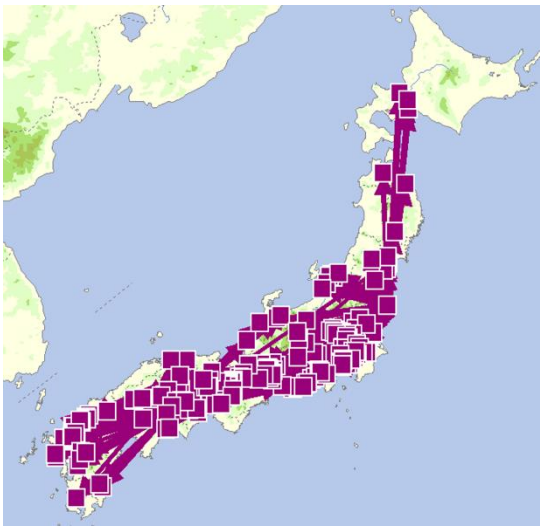
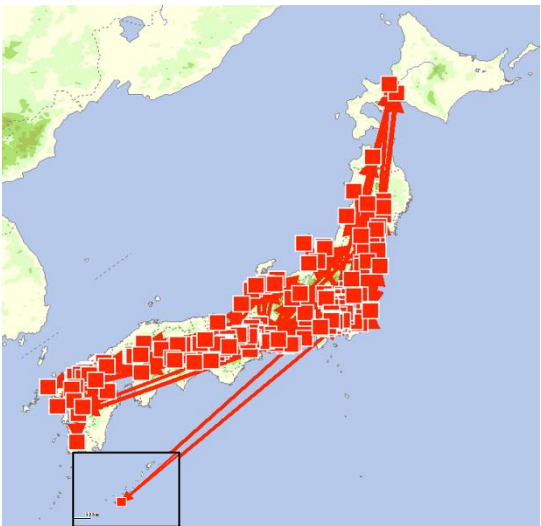
×100とした場合

◆ 登録ルート数	125,700
◆ 共配検討数	3000件
◆ 共配実現ルート数	800件

デジタルマッチング実証報告（2024年度）

検討状況

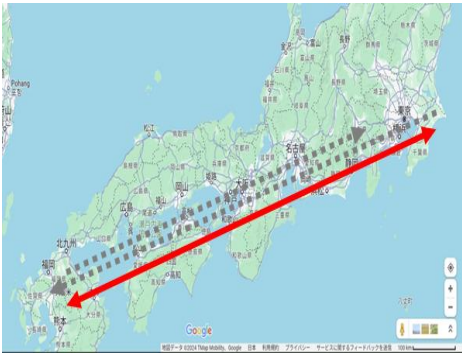
ステータス	件数	共同輸送効果(max)	
		建台数 (台/年)	CO2排出量(t・ CO2/年)
検討前	120	7,745	0
検討中	6	79	0
開始	8	1,082	563
断念	16	724	0
計	150	9,630	563



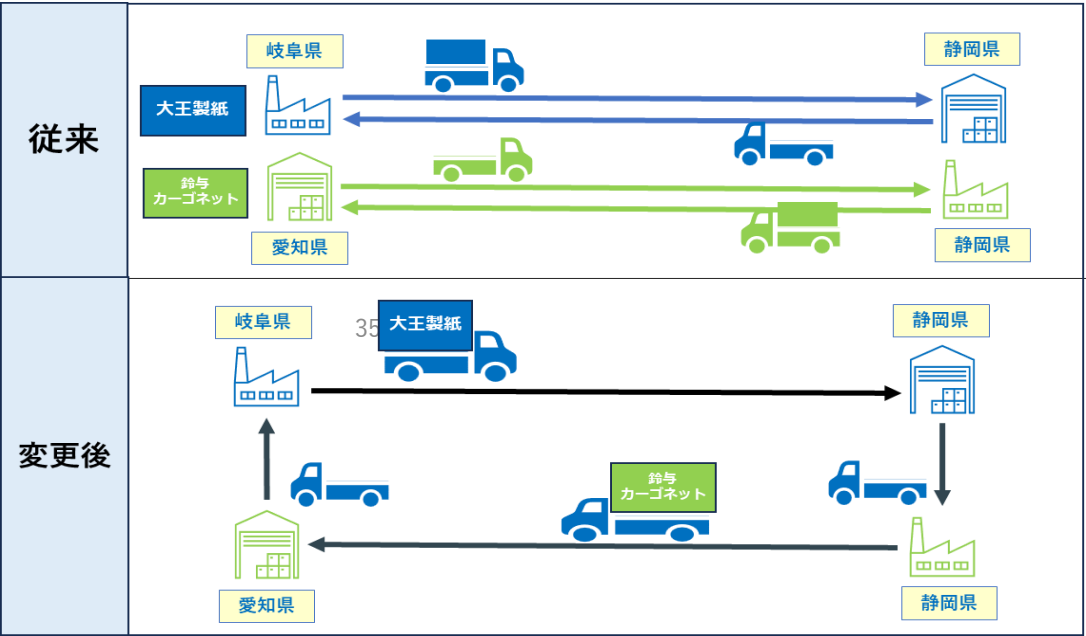
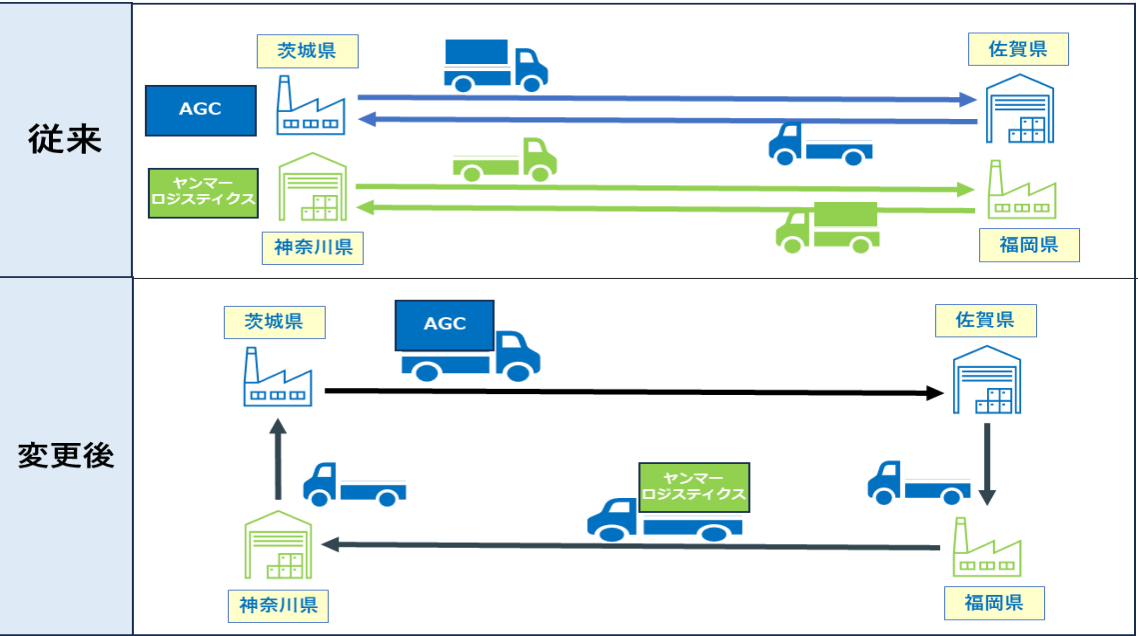
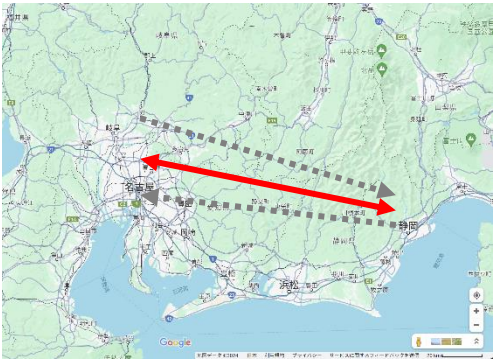
デジタルマッチング実証報告（2024年度）

2024年3月より各社にて検証開始、既に複数ルートでの共同輸送開始
引き続き個社間で対象ルート拡大を検討

往復化①
ヤンマーロジスティクス&AGC
CO2削減 : 43%
拘束時間削減 : 44%
車種:平ボディ(フェリー)車格:19t



往復化②
大王製紙&鈴与カーゴネット
CO2削減 : 38%
拘束時間削減 : 36%
車種:ウイング 車格:10-25t



デジタルマッチング実証報告（2024年度）

2024年3月より各社にて検証開始、既に複数ルートでの共同輸送開始
引き続き個社間で対象ルート拡大を検討

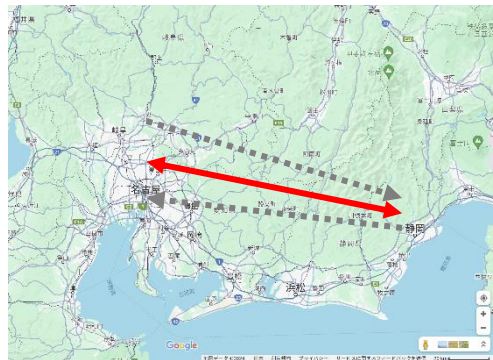
往復化③

中部興産 & 鈴与カーゴネット

CO2削減 : 38%

拘束時間削減 : 30%

車種 : ウイング 車格 : 25t



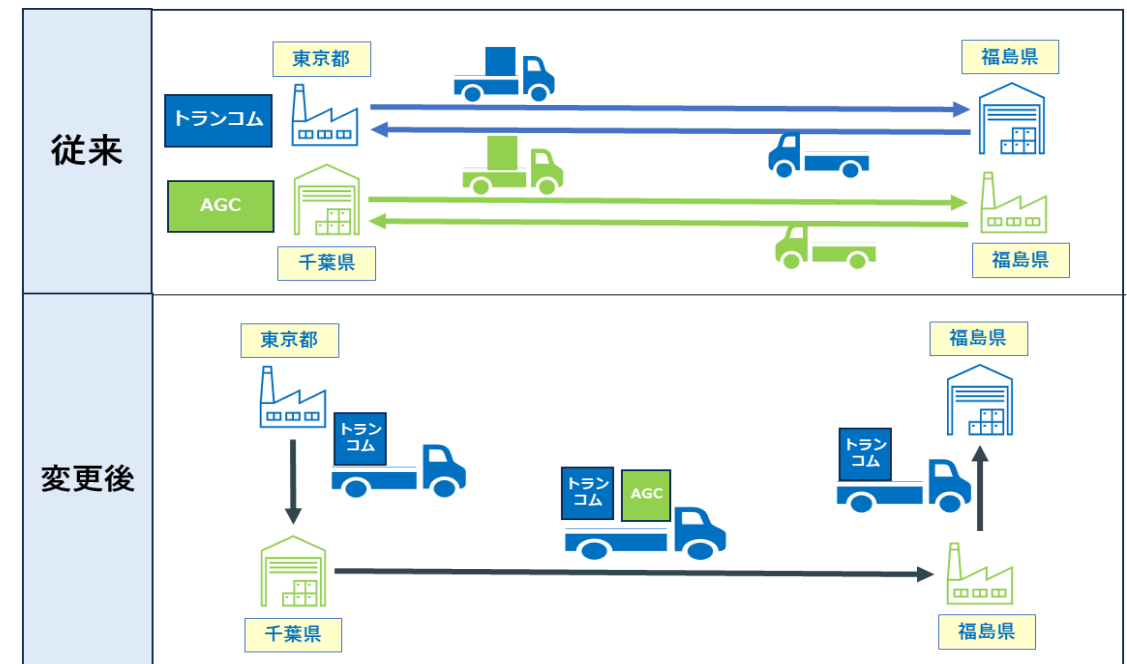
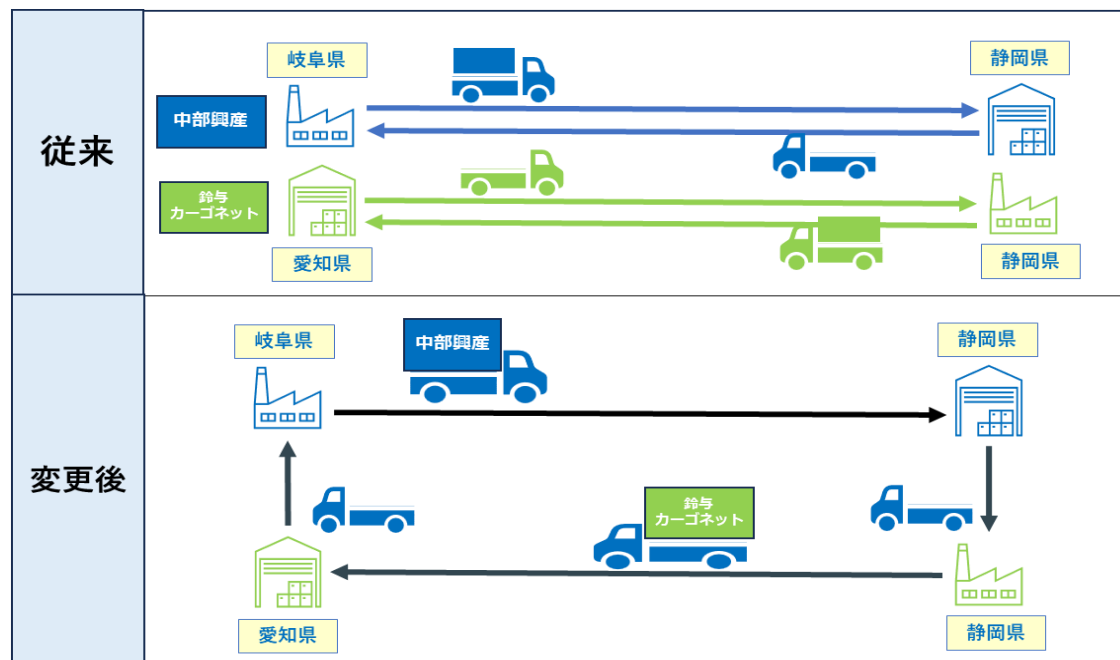
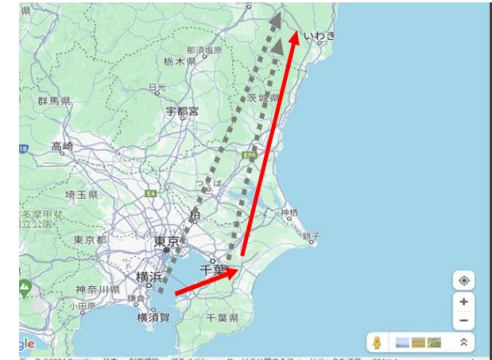
混載

TRANCOM & AGC

CO2削減 : 36%

拘束時間削減 : 35%

車種 : ウイング 車格 : 4t



令和6年度

新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化
・ 非化石エネルギー転換推進事業費補助金

令和6年度「運輸部門エネルギー使用合理化・非化石エネルギー転換推進事業費補助金
（新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業）」
に係る補助事業者の2次公募の結果について

令和6年度「運輸部門エネルギー使用合理化・非化石エネルギー転換推進事業費補助金（新技術活用サ
プライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業）」に係る補助事業について、令和6年8月8
日から令和6年9月13日まで公募を行い、応募のあった提案について、第三者で構成される審査委員会によ
る厳正な審査を行った結果、次のとおり補助事業者を決定しましたのでお知らせいたします。

事業者	株式会社 t r a e v o
事業名	共同輸送データベースの普及によるサプライチェーンにおけるエネルギー効率の向 上実証事業
補助金額	
事業の特徴	荷主および物流事業者の輸送実績をデータベース化し、共有することで、同業・異業種間 の共配、帰り便マッチングを実現し、既存のサプライチェーンのみならず広く輸送効率 を向上させ、CO2排出量を削減する。
省エネ率	▲4.2%の省エネ効果を見込む

共同申請企業
イオン北海道
ホクレン
北海道センコー

協力
北海道物流研究会
農水省北海道農政事務所
国交省北海道開発局
国交省北海道運輸局
北海道

北海道共同輸配送デジタルマッチング事業（結果報告）

- 経済産業省北海道経済産業局では、物流データの見える化による事業者マッチングを促進するため、関係機関と連携し、**全国で初となる共同輸配送デジタルマッチング事業を実施**する。
- 共同輸配送デジタルマッチングシステム上でのデジタルによる事業者マッチングを推進することにより、**北海道内におけるより一層の共同輸配送の促進を図る。**

共同輸配送デジタルマッチング事業の概要

○事業内容：

共同輸配送デジタルマッチングによる動向分析・効果検証

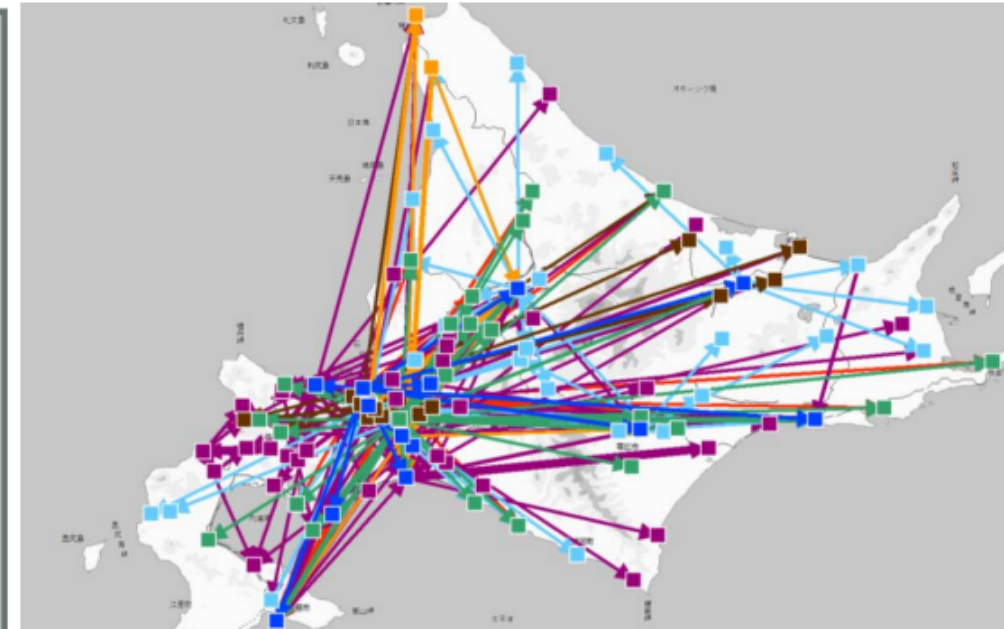
混載や帰り便の貨物手配などの共同輸配送に取り組む意向をもつ事業者を対象として、システム上で共同輸配送のデジタルマッチングを促すためのサービスを提供するとともに、北海道内における輸送情報の集約化・データ化を行う。

本事業を通じて得られた物流データ等を活用し、共同輸配送等の動向及びデジタルマッチングに関する効果検証を行う。

○**連携先**：農林水産省北海道農政事務所、国土交通省北海道開発局・北海道運輸局、北海道

○**事業期間**：2024年12月12日（木）～2025年1月31日（金）

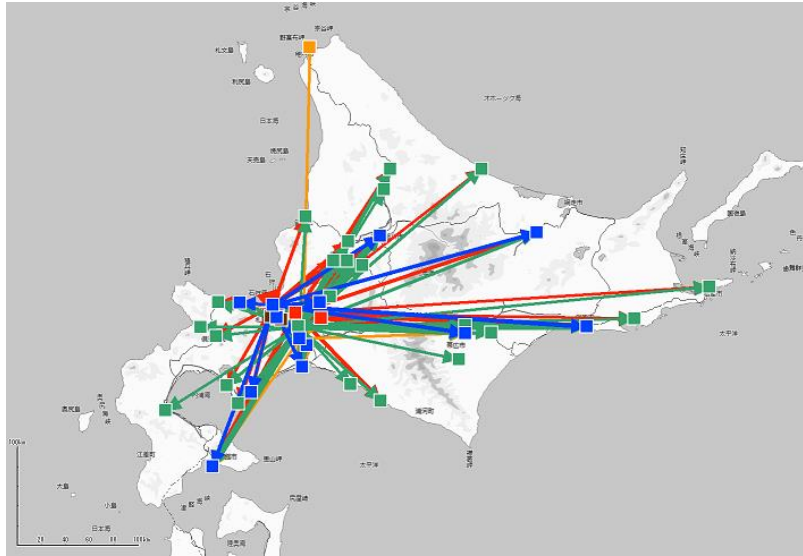
○**事務局**：一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会（TDBC）



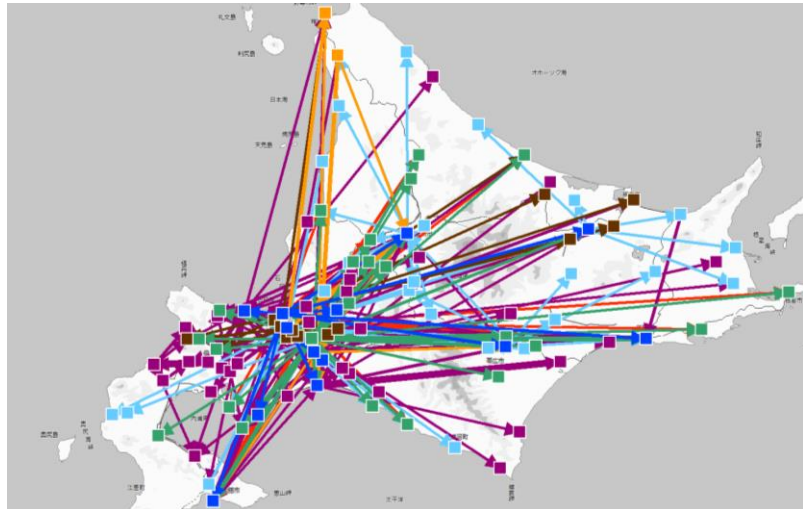
物流データを可視化することで、常時、共同輸配送に関心をもつ事業者同士のマッチングが可能となり、一層の共同輸配送の促進が期待できる

北海道共同輸配送デジタルマッチング事業（結果報告）

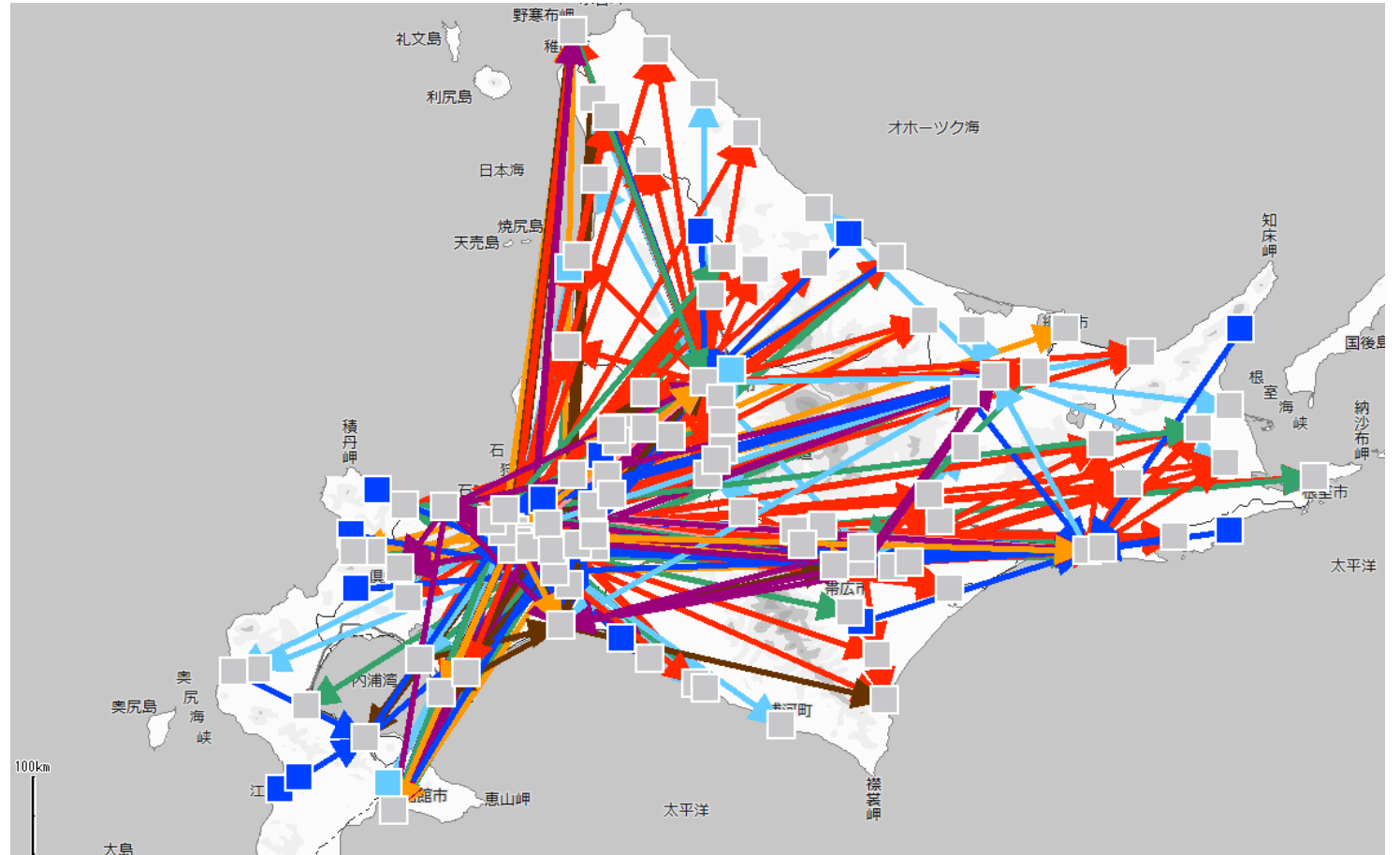
参加事業者増による輸送区間のバリエーション（網羅率）の大幅増加



2024年4月時点 参加5事業者の輸送区間



2024年7月時点 参加9事業者の輸送区間



2025年1月20日時点 道内参加43事業者の輸送区間

解析協力 株式会社ライナロジクス 株式会社traevo（TDBC会員）

検索結果例

車両 運行 共同輸送（仮）

1 件 検索する クリア

白社往路

エリア 都道府県 未選択
拠点 北海道北見市

白社復路

エリア 都道府県 未選択
拠点 北海道苫小牧市

回送条件

☒ 回送距離 50 km以内
☐ 回送時間 60 分以内

車種
(複数選択可)

トラック ☐ ウイング ☐ 平ボディ ☐ すべて ☐ 箱車
トレーラー ☐ ウイングセミトレーラー ☐ ウイングフルトレーラー ☐ 平セミトレーラー ☐ 平フルトレーラー ☐ すべて ☐
その他 ☐ ジェットパック ☐ ローリー ☐ ダンプ ☐ すべて ☐

発拠点候補



着拠点候補



苫小牧着

北見発

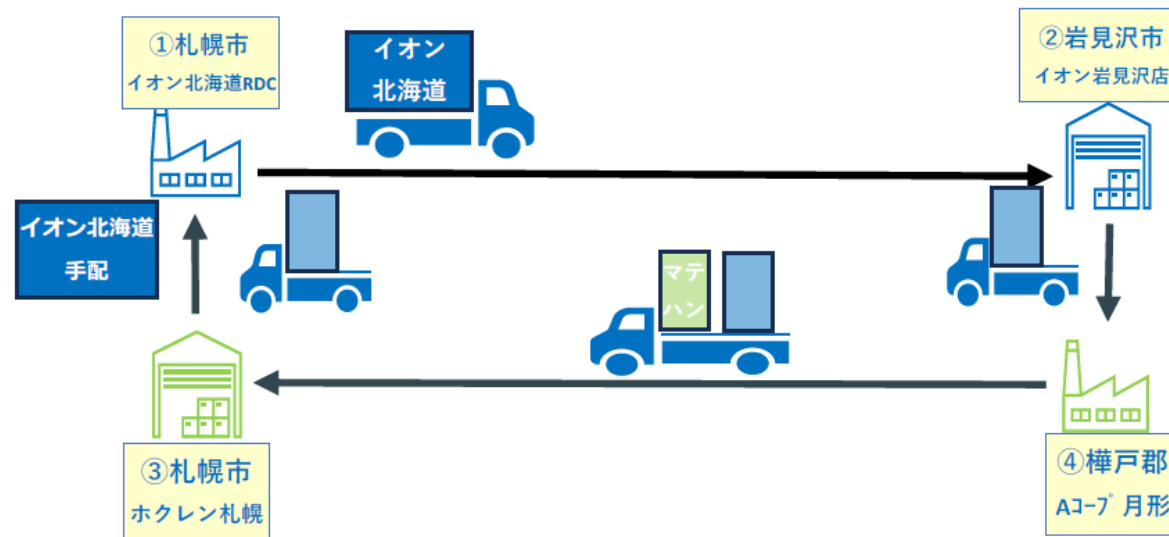
マッチング候補

CSV出力 : 0 件

	ユーザーID	共同輸送 発拠点		共同輸送 着拠点		往復回送距離	輸送実績						
		市区町村	回送距離	市区町村	回送距離		合計	23/3	23/4	23/5	23/6	23/7	23/8
☐		北広島市	39km	北見市	0km	39km	872	77	74	75	78	74	74

- 本デジタルマッチング事業の効果検証のため、イオン北海道とホクレンにおいて実証事業を実施。
- ホクレンは、Aコープ月形での荷下ろし後、マテハンを積んで札幌まで戻る必要があったところ、イオン北海道がAコープ月形を経由しホクレンのマテハンを積んで札幌まで戻ることにより、効率化に寄与。

イオン北海道×ホクレンの実証事業による効率化イメージ



<従前スキーム> ホクレンはAコープ月形で荷下ろし後、マテハンを回収して札幌まで戻り、イオン北海道はイオン岩見沢店で荷下ろし後、マテハンを回収して札幌まで戻っていた。

<実証事業内容> イオン北海道がイオン岩見沢店で荷下ろし・マテハン回収後、Aコープ月形を経由・ホクレンのマテハンを回収して札幌まで戻ることにより、ホクレンはAコープ月形での荷下ろし後に別用務を行うことができるようになることにより、物流効率化に寄与。

イオン北海道（センコー）のトラックに
ホクレンのマテハンが回収されている様子



2025年8月1日 サービスイン



traevo “の和”

業種、会社規模問わず、誰もが同じ
データを**公平、平等**に活用する事で
共同輸送の実現を目指す

traevo “の輪”

物流共通課題に対して各社が**繋がり、**
協調する事によって**持続可能**な物流
環境を構築する

「広範な社会インフラ」を目指し、物流全体最適に貢献

traevo noWa 概要 - データ登録状況(10/7時点)

2025年8月 traevo noWa サービスイン以降

輸送建台数：約680,000台 輸送ルート数：約10,000件のデータ登録済

① 発着地区別 輸送建台数(台/年)

合計 / 総数		着地区								
発地区	▼	▼								
		北海道	東北	関東	北信越	中部	近畿	中四国	九州/沖縄	総計
北海道		14,953		115		215	76		1	15,360
東北		678	4,841	29,372	5,941	3,331	819	70	22	45,074
関東		2,242	20,843	56,025	7,069	52,567	19,179	2,648	5,297	165,870
北信越		30	1,077	6,528	1,930	8,409	3,431	1,319	1,303	24,027
中部		863	2,298	53,556	15,062	87,977	27,650	2,666	10,777	200,849
近畿		668	1,381	19,648	18,712	15,611	45,132	44,431	3,974	149,557
中四国		176	869	4,167	1,386	8,579	17,708	7,408	6,744	47,037
九州/沖縄		485	738	6,827	681	6,018	2,812	4,016	14,946	36,523
総計		20,095	32,047	176,238	50,781	182,707	116,807	62,558	43,064	684,297

② 発着地区別 輸送ルート数(件/年)

個数 / 総数		着地区								
発地区	▼	▼								
		北海道	東北	関東	北信越	中部	近畿	中四国	九州/沖縄	総計
北海道		42		2		11	3		1	59
東北		5	27	130	29	69	9	1	2	272
関東		16	83	560	113	1,439	458	33	102	2,804
北信越		3	27	226	95	220	136	23	21	751
中部		45	99	1,895	247	1,379	685	77	164	4,591
近畿		4	15	568	55	404	247	53	22	1,368
中四国		2	8	67	18	54	65	38	41	293
九州/沖縄		4	6	95	14	62	20	43	152	396
総計		121	265	3,543	571	3,638	1,623	268	505	10,534

traevo noWa 概要 - 料金体系

TDBC会員・traevoユーザーは**無償**、その他ユーザーも年間30,000円の利用料のみで**全機能**を利用可能。データは年度更新

TDBC会員・traevo Platformユーザー

利用料 **0 円**
(1アカウント当たり3ID)

その他費用 **0 円**

✓ アップロードによる輸送データの登録・更新

✓ 自社データを元にした共同輸送相手探索

✓ 共同輸送相手との簡易コミュニケーション

✓ 自社輸送データの簡易分析

一般ユーザー

利用料 **30,000 円/年**
(1アカウント当たり3ID)

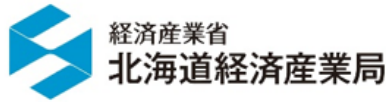
その他費用 **0 円**

✓ アップロードによる輸送データの登録・更新

✓ 自社データを元にした共同輸送相手探索

✓ 共同輸送相手との簡易コミュニケーション

✓ 自社輸送データの簡易分析



共同輸配送デジタルマッチング 参加事業者募集

経済産業省北海道経済産業局は、事業者の輸送情報を活用して物流効率化に繋げる「共同輸配送デジタルマッチング事業」を開始し、本事業に登録する事業者を広く募集します。本事業は、「2025年度日本ロジスティクス大賞（（公社）日本ロジスティクスシステム協会実施）」を受賞した共同輸配送データベース「traevo noWa」を活用した実証事業で、登録は無料です。是非お申し込み下さい。

参加費無料

無償事業期間 2025年8月26日～2026年1月30日

システムの流れ traevo noWa の機能

(1) 輸送データ登録



(2) マッチング候補検索



登録方法

登録様式に必要事項を記入の上、件名を「[事業者名] デジタルマッチング事業」とし、下記の「申込先」までEメールください。

入力いただいた情報は、匿名加工の上で共同輸配送デジタルマッチングシステム上に登録し、システムをご利用いただけます。（北海道内のデータは匿名性を担保の上動向分析・効果検証に使用させていただきます）

登録様式

以下URL中の「登録様式」をご参照ください。

北海道経済産業局 HP

URL : <https://www.hkd.meti.go.jp/hoksc/2025082>

株式会社traevo HP

URL : <https://traevo.jp/nowa/>

※メールでお申込みいただいた時点で、「traevo noWa利用規約」に同意と見做されます。（https://traevo.jp/docs/nowa/terms_nowa.pdf）

※申込後、事務局からメールにてシステムURL等をご案内いたします。

申込み先

traevo noWaデジタルマッチング事務局

E-mail : joinnowa@traevo.jp

※問い合わせ先とメールアドレスが異なりますのでご注意ください

※個人情報については、その保護に万全を期すとともに、原則として第三者へ提供することはありません。